

# なきごえ



1965

8

大 阪 市  
天王寺動物園

# アルマジロ

皆さんはアルマジロという動物を知っていますか。和名で“きゅうよ”とっていますが、一般的でないので英名のアルマジロをそのまま使っています。日本の動物園にはほとんど飼われていませんので、見たことがない人も多いでしょう。

ところで、天王寺動物園では全国の動物園でたゞ1頭このアルマジロを飼っています。

アルマジロは南アメリカがホームグラウンドですが、中央アメリカにもいます。又、ある種のもは、メキシコからアメリカ合衆国のルイジアナ、アラバマなどにもすんでいます。



アルマジロは先史時代に南アメリカにすんでいた装甲生物のグリプトドンを先祖としています。ですから、頭の背部には三角形の盾状の甲ら(骨質帯)を、胴体は種類により、いろいろ数は異なりますが、ウエストに可動のバンドのある甲らをもっています。性質はおとなしく、斗争的な動物ではないので、危険が迫るとすばやく自分の巣穴にかけもどるか、鋭い前足の爪で土を掘って、自分の身体を土にうめこんでしまいます。そうでないときには、体をボールのようにまるめて、硬い甲らで噛みつかれないように防護するのです。でも、お腹のすいた悪がしこい狐などは、アルマジロをひっくり返して、やわらかい腹を上にして襲ったり、水の中におとして開けさせることを知っている

そうです。アルマジロはトンネル掘りの名手で、地下にトンネルを掘ってすんでいます。トンネルの奥に広くなった部屋をつくって、昼間はここに眠っています。夜になると外に出てシロアリを食べます。又、サソリや昆虫、蛇、ねずみ、卵、獣肉、穀類まで食べます。

動物園ではもう2年半もこのアルマジロを飼っています。部屋には山の土をたくさん入れ、ここに自由に巣穴を作らせています。もちろん、トンネルを掘って外にぬけ出さないように、コンクリート床です。あるときは、その強力な爪で、高い垂直な壁や金網をやす

やすと乗り越えて、暖かいラジエーターの傍でゴロリとおおむけにねそべっていました。

爪が壁の縁にかゝるように、土をどんどん壁のそばに盛りあげたりして、なかなか頭の良いのに感心させられました。

動物園での餌は、日に1回、夕方に与えます。ミンチ肉、卵黄、牛乳を主として与えています。なかなかの大食漢で、もはや円くならないほどにぶくぶく肥ってしまいました。

(写真は穴から顔をのぞかしたアルマジロ)

(写真と文 樽 本 勲)

## なきごえ 8月号もくじ

動物の紹介(アルマジロ)	2
飼い方シリーズ(かめの飼い方)	3
動物園グラフ	4・5
ペットを訪ねて	6
入園のご案内・動物園ニュース	7

# かめの飼い方

「かめ」の種類は世界で200種類位いると云われています。

私達の身近なものとして、よく見られるのは、「いしがめ」、「くさがめ」、「スッポン」等で、これ等のうちで、「スッポン」はあまり一般には飼われておりませんので、一般に親しまれている「いしがめ」、「くさがめ」の飼い方について書いてみましょう。

よく金魚屋のみせさきで、洗面器に入れて「ぜにがめ」として売っているのをみかけますが、これは「いしがめ」の子です。

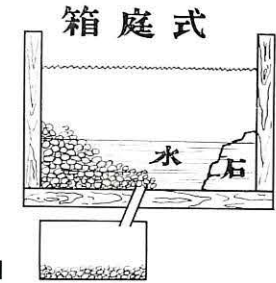
家庭で「ぜにがめ」をガラス容器に水を入れて、うかさせておられる方が多い様に見受けられますが、一時的な観賞用としてはそれでもよいのですが、これでは死なせるようなもので、実際の「かめ」の飼い方をまちがえておられるようです。

庭の余裕のある方は南北に箱庭のようなものを「かめ」の数に応じて、適当な大きさのものを作って下さい。

箱庭については、日光のよくあたる夜露のかかる場所を選び、その箱の中にプールと、静かに休息したり、寝たり、日光浴をする場所をもうけるようにし、尚外敵の侵入と「かめ」の脱走を防ぐため、箱の上に金網をのせるようにしておきましょう。「えさ」については、「ミミズ」、「ふな」や「あじ」の自身を1日量として1頭に対し

て、「かめ」の頭大の量が適当で、箱庭の中においてやっておけばよろしい。「かめ」が大きくなるに従って、箱庭を大きくしたり、人工的に小規模な庭園のなかで飼ってやるのも一つの方法です。大きくなってくると「小ふな」、「ふ」、「そうめん」を与えます。

又金魚鉢やバットで「かめ」を飼うときは水を少なくして、休息できるような石を入れてやり、日光浴をさせるため、時々室外に出してして下さい。アクアテラリウム式なので、食べのこしの「え」や排泄物ですぐ水が汚れるからプールの掃除や水換に注意しないと、水がくさって、「かめ」自身をよわらし死なせることになります。



冬が近づいてくると、アクアテラリウム式のものはもちろん、箱庭式のもの、人工的庭園で飼っているものも全部プールの上から枯葉や落葉をどっきりかぶせ、箱全体をコモでおおって、内を暖かくしてやるようにしておけば、安心して冬をこしてくれま

す。春になると、コモや枯葉、落葉を除き、きれいな水にしてもとどりにして下さい。

(米田 敏光)

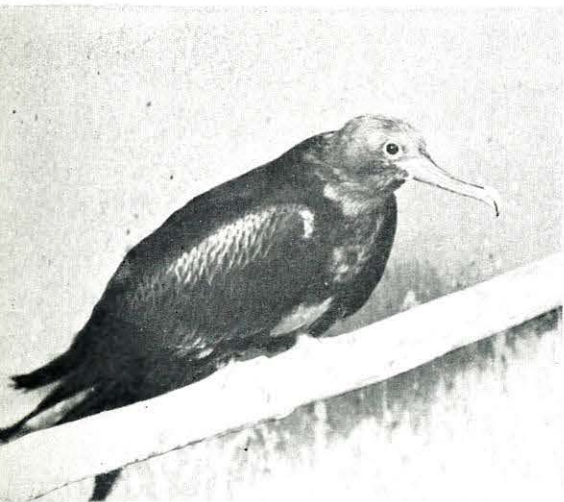
## 表紙の写真

### きのぼりカンガルー

3年前に入園したときはやせていて(3.0kg)、良く育ってくれるかと心配でしたが、今では8.5kgにもなり、なかなかやんちゃになりました。



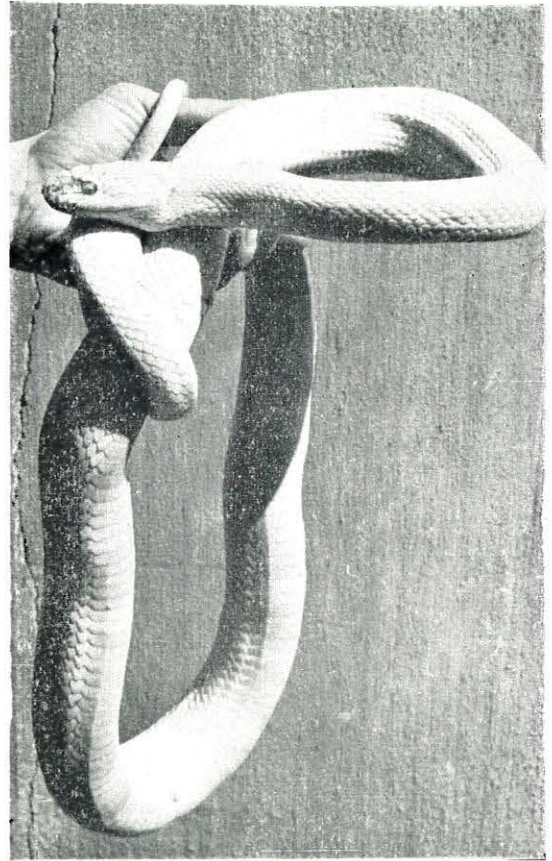
**木登りカンガルー**  
 ニューギニア生れ。身長30センチ、尾50センチ。全身黒色で木登りが上手。メス。  
 昭和38年11月27日入園。



**ぐんかんどり**  
 昭和40年6月19日入園。台風に乗って迷い込んだもの。南太平洋にすむ海鳥で、かつおどりやかもめを襲って食べている魚を横取りする。動物園では小アジ1日200g。



**赤色ジャコビン**  
 昭和29年9月15日入園



**しろへび**  
 山口県岩国市にすむ特別天然記念物。昭和30年12月2日入園。しろへびはあおだいしょうの白変種です。  
 長さ 153 cm 重さ 1 kg

# 動物園グラフ

珍らしい動物たち (その一)



**おおとうぞくかもめ (左)**  
 昭和37年9月2日入園。南ジョージア島などにすむ、ペンギンの巣を襲って卵や雛を食べる。

**かつおどり (右)**  
 昭和35年7月9日入園。太平洋にすむ海鳥で、かつおの大群を知らせるのでこの名がある。



**ちょうせんはげわし**  
 韓国ソウル動物園から送られたもの。  
 昭和38年9月25日入園。



**アルマジロ**  
 昭和37年9月29日南米リマから入園のもの。ミンチ、牛乳、卵で飼育中。現在体重 5.8 kg。



**しろたぬき**  
 昭和34年7月15日入園のもの。たぬきの白変種です。



**ラッパどり**  
 昭和37年1月30日入園した。南アメリカのアマゾンにすむ、果物などを食べている。トランペットを吹いているような声で鳴くのでこの名がある。

## 動物園日記

- 7・1 ししおぎる、はなしかの赤ちゃん誕生。元気で育っています。あしかの赤ちゃんも生まれましたが、おしいことにすぐ死にました。
- 2 ヨーロッパおおかみがお下痢をしたので、薬をのませています。暑さのためあしかの食慾がなくなってきました。
- 3 はなしかの赤ちゃん誕生。
- 4 はなしかの4頭目の赤ちゃん誕生。きいの子の下痢が続

- くので薬をのませています。
- キングペンギンの一羽が気が荒くなり仲間を攻撃するので精神安定剤をのませました。
- 7 日動水協会の繁殖賞をもらった「ほうかんちょう」が卵を生んだので、ふ化器に入れました。
- 8 ゴリラ舎の補修工事のため、室内に収容されたゴリラちゃん、リラちゃんが暑さに参りましたので、扇風機や換気扇を取付けました。
- 9 おおありくいが下痢をしましたので薬を与えています。

- アフリカ生まれのオリックスが暑さのため弱ったので、手当をしました。
- 11 やまあらしの赤ちゃんが生まれましたが、残念なことに親にかみ殺されました。
- 12 狼が鳥が赤ちゃんを生みました。
- 15 ヨーロッパこうのとりひなが今日初めて飛びました。ふ化后 62日目です。
- 21 ちゅうさぎ、うみねこの寄附がありました。
- 22 キリンのオスが右前足を痛めました。手当の結果よく

- なりました。
- 26 にじきじのひな3羽が昨年と同じ症状で死亡したので検査の結果、上気道炎と判りました。
- 27 べりかんが暑さのために食慾不振になりました。各動物舎の運動場に山土を入れました。
- 30 ぐんかんどりは、入園后1ヶ月たちましたが、すっかり元気になり、体重も800グラムになり、今日から一般公開しました。

# ペットを訪ねて

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町

## 大井章一郎さん

減少してゆく野鳥を何とかして繁殖させようとする、野鳥に対する研究熱は、近年に至り愈々たかまりつゝあります。富士山麓にも大きなフライングゲージが出来て自然に近い人工飼育の状態野鳥の類が観察せられ、その繁殖についてもたゆまない努力が重ねられてはいますが、人工管理のもとにあっては、メジロは未だ産卵をしていません。

このようなとき、名勝那智を背景とした温泉郷勝浦の大井章一郎さんのお宅で昨年に続いて今年もメジロが産卵をしました。このことはNHKテレビでも大きく取り上げて報道しました。

私は幸にも此の地を訪れる機会に恵まれたので、早速大井さんにいろいろお話を伺って見ました。

大井さんのお宅は遠洋漁業の船が2隻もある、大きな水産業をしておられますが、章一郎さんは、既に才一線を退いた、御隠居さんです。「メジロをお飼いになったのは」とお尋ねしたら、父の代からと云はれましたから御自身としても恐らく50年～60年の御経験の持主です。お話を伺っているとき、お孫さんがメジロ舎に出たり入ったりしておられました。聞けば、「学校が休みのときは何時もあんなんですよ。私の小さいときにそっくりです」とのことでした。だから、大井さん一家のメジロにする愛情は果てしなく続いて行くものと思います。

メジロの飼育は、競鳴（鳴きくらべ）のため始められたもので、和歌山県下の名のある

大会では何時も1～2席を占めておられます。メジロの最高飼育年数は11～16年だそうです。今年産卵したメジロは7年間飼育したもので、産卵前は特に毛の艶が良かったそうです。

メジロを鳴かせるには、鳴く否メジロの好きな♀メジロを選ぶことが一番むづかしいことで、どれでも良いと云ふ分けでなく、永年の経験による細密な観察力が必要だとのこと。合性のよい2羽を並べると、うれしいときに、はしゃいでお話するときのような、はしゃいだ声で、それはそれは楽しそうにオ

ジャベリをするそうです。そして、♀を離すと、早く帰っておいで僕は此処だよ、此処だよと云はんばかりに、大きくすんだ声で鳴き続け、それは夕刻まで続くそうです。

大井さんに人工飼育のメジロの産卵がどんなに珍らしく、貴重なことであるかを力説して、是非共大井さんの手で有精卵の産卵をさせて、ふ化育成を試みて戴き度いと申し上げたら眼を輝かせて大きくうなずいておられました。

大井さんは、今50羽程のメジロを飼っておられますから、大井さんの豊かな経験のもとに選ばれた、景勝の地那智産のメジロが再び産卵、そしてふ化育成せられて、野鳥史に貴重な一頁を飾る日もそう遠い夢ではないと思います。

(写真は産卵したメジロと大井章一郎さん)

(松岡 恵爾)



# 入園のご案内

## ■ 開園時間

3月～10月 午前9時～午後5時  
11月～2月 午前9時～午後4時30分  
◇ 閉園30分前で入園券の発売を終わります。  
◇ 12月30・31日はお休みです。

## ■ 入園料

普通	大人(13才以上)	60円
	小人(5才～12才)	20円
団体	30人以上 大人	54円
	50人以上 大人	48円
	100人以上 大人	42円
	小人	18円
	小人	16円
	小人	14円

◇ 中学生は小人料金扱  
◇ 5才未満は無料(但し保護者付添のこと)

## ■ 駐車場使用料

バス 1台1回 200円 (但し2時間)  
乗用車 1台1回 100円 (までごとに)

## ■ 交通

市電・市バス 動物園前下車(南門正面)  
地下鉄 動物園前下車徒歩2分  
国鉄 天王寺駅下車公園内徒歩10分  
近鉄 阿倍野橋駅下車〃  
南海 恵美須町駅下車徒歩5分

## ■ その他

- 1 迷い子・落し物・呼出し放送などは事務所又は各出入口をご利用下さい。
- 2 入場についての問合せ、動物についての質問などは事務所にて承ります。
- 3 お問合せは 大阪市天王寺区玉水町2 天王寺公園内  
TEL (771) 8401 天王寺動物園事務所



「なきごえ」のご意見ご感想を是非お聞かせ下さい。

■ おねがい

# 動物園ニュース

## ■ 待望のサイが引き続き入園しました。

既報「なきごえ」5月号にてお知らせしました「サイ」(メス2才)が西南アフリカからはるばるやってきました。新居で頭さびしうにしていたサイ(オス2才)もお友達が出来てさすがにうれしそうです。「クー、クー、クー」と声をたてながら、広い運動場を二頭仲良くかけ廻っております。今が一番可愛いさかりです。

## ■ 日本で最初の円形型カモシカ園工事始まる。

当園東側の天王寺公園グラウンド18,000平方メートルをとり入れ、総工費1,350万円、3,500平方メートルの円形型で10月末完成を目ざして、世界でも珍しい、日本で最初のカモシカ園工事に着手しました。

このカモシカ園は、水路で五つの動物舎に区切り、水路には水鳥を放つという新しい放飼スタイルである。このカモシカ園にはオリックス、ニルガイ、クロカモシカ、ハートビースト、エランド等を収容する。

更に入園者に見やすいようにベッドルームの上に観覧回廊を造り、雨の日でも地上通路からぬれないでガラス張りのベッドルームが眺められる。この型の放飼園はスペインのバルセロナ動物園にあるだけで、新しいスタイルで入園者を楽しんでいただこうとはりきっています。どうか御期待下さい。

